



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2006.12.13 (No.2438) 週報 No. 22

第2560地区ガバナー／中條 耕 二  
 会 長／渡 辺 勝 利  
 会長エレクト／荻根澤 隆雄 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／中 村 和 彦 (クラブ奉仕B)  
 幹 事／山 田 富 義  
 S A A／石 月 良 典  
 会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:65名中42名  
 ■先々週出席率:87.69%

【先週のメークアップ】

- [12.7] 見附RCへ  
 ・松谷呉吉さん、杉山幸英さん
- [12.7] 三条東RCへ  
 ・石橋育於さん、山田富義さん
- [12.8] 吉田RCへ  
 ・石橋育於さん、松谷呉吉さん
- [12.9] インターアクト年次大会へ  
 ・成田秀雄さん
- [12.12] 分水RCへ  
 ・石橋育於さん、山田富義さん
- [12.12] 田上あじさいRCへ  
 ・松谷呉吉さん、杉山幸英さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



シクラメン

## 会長挨拶

渡辺勝利 会長



先週の総会は次の年度の会の役員を決めていただく大事な会にもかかわらず、もう一つのお役目でやむを得ずそちらを優先せざるを得なく欠席となり済みませんでした。荻根沢さん有難うございました。

今年のこの会場での例会も今日が最後です。来週は会場を変えての親睦委員会主催の恒例のクリスマス例会です。1年の半分がもう過ぎようとしているんだね、と先ほど隣の山田幹事と顔を見合わせました。

お蔭さまで50周年の準備が着々と進められており、実行委員長、実行副委員長が手分けしながら地区内のクラブに式典への出席のお願いに回っていただいているとお聞きしていますし、先日試食会も開かれました。私も参加させていただきました。どれを食べてもおいしくて喜んでばかりでお役に立てませんでした。

ところで今日は、来年度から会費を払っていただけることに決まりました。前市長で、当クラブの名誉会員のお話をさせていただきます。ご本人は暫くは激務の後で海外旅行やその他ゆっくりやりたいこともあるとのことでしたが、偶々50周年にあたる年でもあり、ご本人がロータリーの会長をされたときの幹事役を引き受けておられた五十嵐さんのお声掛けのお蔭もあり、来年から会費を払っても良いとのご了解をいただきました。高橋一夫さんのお立場は出席免除の名誉会員のままですが、財政難の会の会長としては大変有難いことと喜んでおります。出れるときには是非顔を見せてほしいと思っております。今日配られた地区の月信を見ますと、10月末現在の数字ですが、65名を超えますと第四分区では最多会員数となり、地区内でも6番目の会員数となりました。分

区内でよく名門クラブと言われ気恥ずかしい気がしておりましたが、数の点では形になれたかなということで、多くの会員の皆様方のお蔭と心より喜んでる次第です。

今日は捧元会長の卓話です。大変有難うございます。楽しみにしております。

## 幹事報告

山田富義 幹事

◎中條ガバナー事務所より

FAX番号変更のお知らせがとどいております。  
050-3437-6500 → 0256-32-7320

◎三条市特別支援教育研究協議会より

「ウインターフェスティバル」出席のお礼状がとどいております。

## ニコニコBOX

渡辺勝利さん

捧会員の卓話、ありがとうございます。  
新たに1名、会費を払って頂ける会員が増え感謝しています。

山田富義さん

捧会員、卓話ありがとうございます。  
50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

熊倉昌平さん

捧賢一さんの短歌集「微笑佛（ミショウブツ）」を頂きましたので。  
今日は卓話、ありがとうございます。

荻根澤隆雄さん

先週の例会で、会長代行をさせて頂きました。皆様のご協力、感謝申し上げます。  
捧大先輩の卓話、楽しみにしております。

五十嵐昭一さん

捧会員の卓話に期待致します。  
50周年の協力。

成田秀雄さん

先日、アクトの地区大会のため、高田へ行ってきました。大変な盛会でした。来年は三条の担当です。三条のアクトメンバーにエールを送ります。

石塚欣司さん

捧さんの卓話、楽しみです。  
ささやかですが、50周年に協力します。

金子俊郎さん

捧会員、卓話楽しみにしています。  
50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

斎藤弘文さん

スマイルボックス委員会を12月6日夜に開催し、過去2ヶ月間の反省と12月・1月の方針を立てました。  
捧会員の卓話、楽しみです。

若槻八十彦さん

捧会員の卓話を楽しみにしております。『微笑佛』読ませていただきました。

中村和彦さん

捧さんの卓話、楽しみにしています。  
ノロウイルスが流行しています。気を付けましょう。

小出子恵出さん

年内に雪が積もらないように願って。  
捧さんの卓話を楽しみにしています。

広岡豊作さん、小越憲泰さん、五十嵐力さん、五十嵐寿一さん、会田二郎さん、日戸平太さん、船越正夫さん、丸山行彦さん、外山雅也さん、高橋 司さん、杉山幸英さん

捧会員、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

石月良典さん

いいことがありましたので、スマイルBOXに協力させていただきます。

平原信行さん、樺山 仁さん、伊藤寛一さん

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

12月13日分 ￥ 36,000  
今年度累計 ￥1,228,000

## 卓 話

### 「経営について思うこと」

#### 捧 賢一 会員

半 九



この度は、つたない歌集を出しましたところ、皆さんに喜んでいただき大変有り難く思っております。ありがとうございます。

今日は、歌集についても触れませんが、最近想っていることとお話してみたいと思います。

私は、3年前に会社で会長になりました。その前の社長のときも含めて永年仕事をしまいましたが、今、何をやっておかなければならないかと申しますと、それはやはり後継者の育成でありまして、そのことを最近考えているわけがあります。

社長は、養子であります。役所に勤めていたのですが、会社に入りまして、白根の配送センターを立ち上げるとき、そのプロジェクトに参加させました。最初は、現場を分かってもらわなければならないということで、物流に入れました。

なぜ現場に入れたかと申しますと、お取引先の人達がどんな商品を持ち込み、どんな形で対応をしているのか、各商品がどんな形で店に入り、どんな形でお客さんに届いているのか、各店の様子も分かるし、いろいろ勉強にもなるので、配送センターに入れたわけであります。その後、上越の店に1年半ほど、現場を経験させたわけであります。

私は会長になって政策問題を主にやっております。会社がどの方向に行くのか舵取りをしています。実務的には、新たな出店の際の用地の確保などの立地問題、店の建築の業者さんの選定、契約などの決裁が大きな仕事になっています。その他、金融関係、証券関係の方などのお客さんがよくいらっしゃって、私が対応をしているわけであります。営業面は社長がやっています。

そんな中で後継者の育成をどうするか考えているわけです。経営の技術の問題、情報化、国際化の問題、少子高齢化の中で世の中がどう動いていくかなどは、若手の方が敏感でありまして、それはさておき、私は経営の理念はどうしても残しておかないと後が大変だろうとっております。

私が尊敬している経営者は松下幸之助さんでありまして、今でも取引させていただいておりますが、松下さんは、人ということについて大変ご苦労なさっております。PHPという雑誌の中でも経営のことだけではなく人の生き方などについてもいろいろ教えています。

私の会社は、大きくなっておりますけれども、ひ

よっとして簡単につぶれていくのではないかと心配することがあります。お蔭様で売上げも背丈も伸びておりますが、どんな形で経営の考え方を残していくか、創業で私たちが苦勞したことは2代目は分かっていませんから、経営の理念というか、経営の心を幹部社員にどんな形で残していくか、気を遣っているところでもあります。

それで、私のところでは合同会議というのが毎月あり、月に1回、1泊2日で幹部社員を集めてやっております。以前は700人から800人を集めてやっておりましたが、遠く九州、岩手の花巻などと遠くの店が増えて、旅費もばかにならないということになって、最近では、テレビ会議になりました。近くには200人ほどを集め、残りは、各地の配送センターの中の本部に集まり、テレビで参加するようになっていきます。

その合同会議で、私は、1日目に会長方針というのを90分ほど話しています。いろいろなホームセンターの問題とか小売業の問題とか、うちの会社はこんなところを気をつけなければならないとか、いろいろ話します。2日目には、テーマを決めず、これまでの思い出話の卓話をしています。30分の予定ですが、大体45分くらいになってしまいます。これまでの苦勞話とか、どのような考えでやってきたかを話していますが、この方が堅くないと評判が良いようです。

もう1つ残しておきたいのは、創業以来月に1回出している社内報です。そこに巻頭言を書いています。これは社長の方針ということで、いろいろなその時の問題点、会社が困っていること、世の中の大きな変化やこれから新しく企画し進出する地域のことなど、いろいろ書いています。

この合同会議の会長方針と卓話、巻頭言の2つを、健康に恵まれましたので30年位書き続けています。その中でいろいろな勉強をさせられました。

社内報で書いて、社員に読んでもらうには面白い記事を書かなければなりません。そこで、町のある風景ということで、出店する周囲の歴史や風景というものを書いてもらうため、専門家2人をお願いし、私と3人で、車に乗って出店する街をまわり記事を書いてきたわけでありましてけれども、その中の1人から、あんた社長なのに文章が上手くない。自分が教えてやるから、自分の主宰する会に入りなさい。と言われてその会に入り会費を納めるようになりました。それには、会が、会員が減って会費が集まらなくなったので捧さんを引っ張り込もうということになったという裏話もありました。そのうち、その2人が身体を悪くしたので、自分でカメラをぶら下げて、手帳を持って出かけて、20年近く写真と文章を書いているわけです。それがまた1つの楽しみにもなっているわけです。

私は、経営というのは仕事というより、その人そ



の人の人生だろうとっております。だから自分の人生をどういう形できちっと始末を付けるかということが最も大事なことだろうとっております。

会社も店が770位、売上げも伸びました。それぞれの経営者はいろいろな考えがあろうかと思いますが、私は私なりに自分の作品を作っていると思っています。自分の生きざまの中でどう始末を付けていくのか、その中の1つの作品が経営そのものであるとっております。

私がやりたいと思っていることは、今、日本でホームセンターと言われているものは、残念だが、世界では、ディスカウントストアがバラエティストアーなどと言われる雑貨スーパーと見られており、世界の統計には上がっていません。住まいの関係のもの、資材、建材、道具、工具、農業資材を圧倒的に売るのがホームセンターと言われています。

私は、独自のホームマットでやっていますけれども、日本には日本のあるべき姿のホームセンターがあり、それを作っていくのが私の夢であります。

私は、社内報の中の写真の隣に1つずつ短歌を書いていたわけですが、これが大学ノートに溜まりました。それを、毎年4月29日に雪梁舎美術館で俳句祭りをやっている巨匠と言われる方達が見て、歌集を出せと昨年言われました。初めは断ったので

すが、その巨匠の中心になっている方が今年急に身体を悪くしまして、どうしても出さなければならなくなり、他の巨匠の方達がいろいろやってくれて出来たものです。

出来てから考えてみますと、私が19年間書き溜めたものですが、この19年間の歴史は私にとって非常に大事な歴史でありました。店の数も57から770位、売上げも181億円から2,474億円と13倍位になりました。株式上場などもやり、最も成長した時期でありました。歌にはその時その時の最も自分の気持ちを載せておきましたので、1つの歌年誌になったなとっております。これを社員に読んでもらいたいと思いついて注文を取ったところ1,900冊位希望があり、ほっとしているところです。有り難いと思っております。

このように創業してからホームセンターをやって、運が良かったなと思っております。その一番は、人との出会いであります。各先生方、友人知人の教えを受け、また乗り物が違ってればこうはならなかったわけで、運が80%、自分の努力が20%位と思っております。

ここにおられる会員の皆様方にいろいろとご指導・ご支援をいただき、高い席からお礼を申し上げまして、お話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

次週例会 12月27日 クラブ休会

次々週例会 1月3日 休会

